

北海道函館市山背泊町の山くずれ

函館海洋气象台

1949年10月10日函館市に豪雨のため山くずれが起つた。

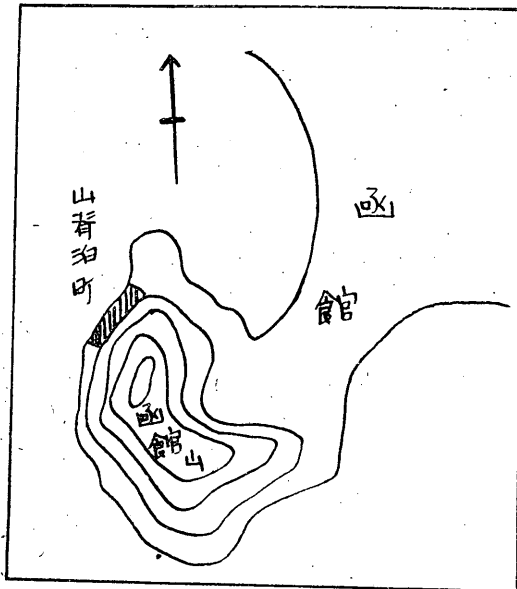
1. 山くずれのあつた日時： 10月10日19時30分ごろ
2. 場 所 : 函館市山背泊町
3. 被害状況 : 山くずれ2箇所、家屋半壊300戸、人命死傷はない

4. 山くずれの経過および視察の結果

当日、函館地方を襲つた豪雨（雷雨）の強度、雨量などは地区により区々であつたが、当台の観測によれば、16時30分から突如降り出した強雨は18時ごろまで1時間につき30～50mmの強度で降り続け、以後は1時間につき数mm程度の割で間けつたくなり、翌11日3時ひとまず止んだ。この強雨は1時間量50mm、10分間量20mm、ともに開所以來の記録で、まことに驚くべきものであつた。

山くずれの起つた山背泊町は、函館山の北西山ろくが海に没しようとする海岸に沿つた町で、南

第1図



函館市山背泊町の山くずれ

東側は高さ20m以上、傾斜45度のがけをなし（第1図）、がけの上には人家が密在し、ほ装道路も通つている（第2図）。

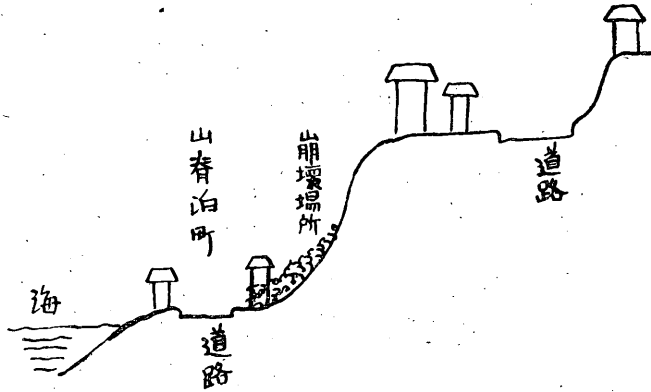
当日16時30分から18時30分までの強雨が終り、並雨はまたは小雨となつてから約1時間経過した19時30分ごろ突如このがけに2箇所のがけくずれが起つた（第3図）。

双方の距離は300mほど隔たつている。いずれも、それぞれ人家と水産処理場に土砂、建木が侵入し、家屋の支柱が折れて半壊した。

いずれも規模は小さく、1箇所は

験 震 時 報

第 2 図



幅10m, 長さ20m, 厚さ0.8mほどの粘土と砂礫とからなる地層がけ上からはん濫落下して来た雨水によりくずれ落ちたもので, 他はさらに小さく, 幅5m, 高さ10m, 厚さ0.5mの地層がくずれ落ちたものである。

なお豪雨時には, このがけはよく崩壊した。

第 3 図

